



第57回 在宅チーム医療栄養管理研究会

議事録

2011年3月6日（日）

■ 日時： 平成23年3月6日（日） PM 13:00～16:45

■ 場所： 社会福祉法人 浴風会 本部塔・第三会議室

■ 内容

1、会長挨拶 佐藤悦子先生、次期当会会長 市原幸文先生のご挨拶

【講演とデモンストレーション・試食】

2. 咀嚼嚥下困難の方が美味しいと笑顔を見せてくれる驚きの
食事づくり 『凍結含浸法』～

講師：青葉会福祉会特別養護老人ホーム松寿園 管理栄養士 梅垣 佳津枝 先生

協力：東静電気株式会社(真空包装機)：株式会社クリスタルコーポレーション(野菜酵素他)

現在、嚥下困難者を対象に、どのような状況でも美味しく食べられる食事の訴求を進めている。
目指すは、「食材そのままの形で風味・味を損なわず提供すること」である。

その実現のために「凍結含浸法」の技術は、大変有効な手段であると考えている。

具体的な調理方法として イ、低温スチーム調理法、ロ、ペースト真空調理法 ハ、凍結含浸調理法
がある。そして次のような成果が得られる。

- ①刻み食廃止
- ②ペースト食を食材の形、風味、味そのまま提供
- ③食事による喉詰り事故が減少
- ④喫食率90%前後
- ⑤栄養状態良好（Alb>3.5）90%以上
- ⑦コスト削減
- ⑧利用者へのきめ細かいニーズへの対応 ⇒ 固さの調節、素材、好みなど、個別対応が可能

現在、松寿園では、施設の調理師さんらと一丸となって、システム化を進めている。

「凍結含浸専用調味料VgTORON（ベジトロン）と真空包装機を利用した新介護食調理」
凍結含浸法は研の特許であるが、ベジとろんを使用すれば）（15350円）特許料も含まれてる。
食材にベジトロンを加え、真空パックしておけば、軟らかくなる。極めて簡単である。
食べると、ぐずれることなく、とろけるように喉ごしよく摂取できる。

（広島県のテレビで紹介された。）

◎凍結含浸法：広島県食品工業技術センター開発

食材内部に他の物質を急速に含浸させる特許技術

基本行程：加熱→凍結→解凍→減圧→酵素→加熱→完成

・ベジとろんと真空包装機を利用した凍結含浸

◎食材の軟化のしくみ：細胞間接着物質（ペクチン等）を酵素の力で分解、単細胞化

- 株式会社クリスタルコーポレーション（野菜酵素他） <http://www.christar.jp> 参照
昨年から事業開始。今は野菜中心だが、今後拡大予定。
凍結含浸法を利用するには、広島県と直接契約か、ベジとろん採用の方法がある。
後者では、管理栄養士が常駐する病院、介護施設、上記と契約している介護食製造業者
○ベジとろん 500g 15750円 専用下茹用だしの素 500g 5250円
○真空包装機（東静電気株式会社）

この方法の特徴として、加熱工程がないので、食材の栄養素の分解、溶出などが無い。

3. 摂食嚥下障害者用食品研究開発の新たな試み

一 摂食回復支援食「あいと」の紹介と試食を兼ねて一 イーエヌ大塚製薬株式会社 マーケティング本部 部長 桐明 豊氏

会社は岩手県花巻市にある売上約100億円の会社で、大塚製薬と雪印乳業の合併会社である。昨年からは、摂食回復支援食「あいと」の製造方法は、イーエヌ大塚製薬が独自に開発した「酵素均質含浸法」による。サトウのご飯の10回噛んだ状態である。今後、ガイドラインを作る方向で検討している。この技術は、特定のところでクローズにしないで、梅垣先生らも含め連携し広めていく。尚、流通は、全病食を通じて販売する予定である。東京では、将来、調剤薬局・一般市場にも広げたいと考えている。

4. 15:15~16:45 運営委員会

『在宅チーム医療栄養管理研究会今年度反省と来年度改革案について』

- ◎ 平成23年度「在宅チーム医療栄養管理研究会」役員
代表 市原幸文 副代表 吉野知子、蓮村幸え、山川治、 幹事 塚田邦夫
副幹事、影山光代、大井桂子 事務局長 佐藤悦子
- ◎ 会計報告：川戸さん
- ◎ 世田谷に分科会（管理栄養士の団体が必要）
- ◎ 研究会規約の改訂：
 - 第2条：事務局 吉野さんの異動に伴い佐藤、関谷、滝本に変更
 - 細則第4条：分科会について規約をつくる。（世田谷分科会発足に伴う）
 - ⇒ 必要性の是非、世田谷の目的など再度検討必要か？
 - 企業への依頼：会員費、展示費について
 - ⇒ 費用、明細、年間計画など趣意書など年度末、来期予算決定前に企業に提示。
 - 来年中頃、検討し企業側に提示するべきである。
 - 会費：会員：年会費5000円据え置き
 - 一般：定例会 1000円、学生500円 フォーラム 1000円を3000円以上
 - ⇒ 細則第2条改訂：定例会、フォーラム、症例検討会に無料で参加できる。

研究会計画：定例会4回（5月29日、7月10日、11月、3月）
フォーラム 10月16日、5月決算報告
尚、次回は、5月29日（日）（鈴木さん）

以上